

「新島市をぶっ壊す」

地域に学ぶ 実践活動レポート

実践活動レポート

大学院FD

研究会で報告

新潟産業大学大学院経済学研究所において、2日、大学院FD（フアカルティ・ディベロップメント）研究報告会が実施されました。この報告会を、教員の研究・教育能力の向上を目的としており、今回は私が「消費行動と地域経済の関係検証を目的とする地域通貨ゲーム」と題する研究報告をしました。

「ゲームの理論」で有名な「囚人のジレンマ」という現象があります。これは別々に取り調べを受けている、共犯と目される容疑者が、自己の利益を優先することで、結局2人とも自首してしまい刑務所送りになるというものです。これは2人が協調行動をとり黙秘を続ければ釈放の結果もあり得る中、利己的行動（自分だけ助け合うという考え）が望ましいという結果を招いているのです。現実社会でも「食品偽装問題」や「核開発競争問題」などさまざまな問題で同じ構造が見られます。

この「囚人のジレンマ」構造が、我々の消費行動と地域経済の間にも見られるというのが今回の研究報告のテーマとなっています。近年は、より安くより便利な消費形態としてインターネットショッピングが急速に拡大しています。これは消費者の立場としては合理的な行動なのですが、その結果地域からお金が流出し、地域が急速に衰退していくことにつながっています。これが消費行動と地域経済における「囚人のジレンマ」です。

以上の構造を教室で簡単な買い物ゲームの形で体験してもらうために開発したのが今回報告した「地域通貨ゲーム」ネット通販.comです。報告会の様子

ではこの地域通貨ゲームの実施結果（参加者の消費行動や地域経済指標）を示し、地域通貨の配布が「囚人のジレンマ」から抜け出す力をもつことを報告しました。

今後柏崎市で実際の地域通貨流通活動を発展させ、地域活性化につなげていきたいと考えています。

大学院経済学研究所長 阿部雅明
（同大学地域連携センター）

